



# 「子どものいた街」 井上孝治写真展

2013年4月27日(土)～7月15日(月・祝)

場所…つなぎ美術館 1・3階展示室

開館時間…午前10時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日…水曜日(祝日の場合は翌日)

観覧料…一般300円(250円)

高・大生200円(150円)

小・中生100円(50円)

※( )内は20名以上の団体料金。

※水俣市・葦北郡内の学校による観覧は事前申請による無料。

主催…つなぎ美術館 協力…井上孝治写真館

後援…熊本日々新聞社 FM熊本

◇つなぎ美術館 熊本県葦北郡津奈木町岩城494

T 869-5603 TEL0966-61-2222

FAX0966-61-2223



# 「こどものいた街」 井上孝治写真展

福岡市に生まれ3歳のときに事故で聴力を失った井上孝治(1919~1993)は、16歳から写真を撮り始め、聾学校中等部の卒業祝いに父から二眼レフカメラを贈られてからは、写真コンテストで入選を重ねるようになりました。36歳で福岡県筑紫郡春日町(現・福岡県春日市)にカメラ店を開業してからも、毎日のように街へ出かけては人々の暮らしを撮り続けていました。アマチュアカメラマンだった井上孝治の名が広く知られるようになったのは、1989年に福岡市の百貨店、岩田屋が展開した広告キャンペーン「想いの街」で1950年代に撮った写真が紹介され大きな反響を呼んだことによります。その後、写真集の刊行や写真展の開催を行い、1993年にはアルル国際写真フェスティバルから作家として招聘されることになりましたが、直前に病に倒れ渡仏の夢は叶うことなくこの世を去りました。走り回る子どもたちや行き交う人々をまるで絵画のように計算された画面構成で捉えた作品からは、人々へ注ぐ温かい眼差しと写真に対する真摯な気持ちが伝わってきます。本展では1950年代から1960年代にかけての活気に満ちた人々の暮らしぶりを子どもたちの姿とともにご紹介いたします。記録を超えた普遍的な記憶として人々の郷愁を誘い、脳裏に懐かしい情景を甦らせる井上孝治の作品をご堪能いただければ幸いです。



- ▶ 薩摩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
- ▶ 南九州西回り自動車道・芦北会 I.C. から車で20分
- ▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分



つなぎ美術館  
TSUNAGI ART MUSEUM

熊本県葦北郡津奈木町岩城494  
〒869-5603 TEL 0966-61-2222  
FAX 0966-61-2223

〈記念講演会〉  
「父、井上孝治が撮った昭和」

日時 5月19日(日)  
14時~15時

場所 3階展示室

講師 井上一(写真家)

料金 観覧料のみ

定員 25人(先着順)

\*お問い合わせ・お申し込みは  
つなぎ美術館まで。